

# 1 クラウンアゲンの21年産 牡

父：サトノクラウン 母の父：マンハッタンカフェ  
 2021年4月19日生(黒鹿毛) 美浦・西田雄一郎厩舎 入厩予定  
 生産：(有)ビクトリーホースランチ 繋養牧場：(有)ビクトリーホースランチ  
 全400口 総額1,500万円/一口出資金37,500円/月々の維持費 1,750円/一口



サトノクラウン 黒鹿毛 2012年	Marju(IRE) 黒鹿毛 1988年	ラストタイクーン(IRE)
	ジョコンダ2(IRE) 鹿毛 2003年	Flame of Tara(IRE)
クラウンアゲン 青鹿毛 2013年	マンハッタンカフェ 青鹿毛 1998年	Rossini(USA)
		La Joconde(GB)
	ブリリアントクラン 青毛 2008年	サンデーサイレンス(USA)
		サトルチェンジ(IRE)
		ロックオブジブラルタル(IRE)
		スターズインハーアイズ(IRE)

Mr.Prospector S5×M5

## Family Line

**母** クラウンアゲン

3勝、本馬は第2仔  
 クローネウilmマ：現役

**祖母** ブリリアントクラン

出走  
 ヴァーサ：2勝、現役

**曾祖母** スターズインハーアイズ(IRE)

入着3回  
 ダノンパッション：2勝 デイリー杯2歳S(JPN2)3着  
 [孫]プラチナヴォイス：3勝 スプリングS(G2)3着

**4代母** ウインドインハーヘア(IRE)

3勝 英オークス(G1)2着、ヨークシャーオークス(G1)3着  
 ディーブインバクト：12勝 年代表(2回)、優3牡、優古牡、種牡馬  
 ジャパンC(G1)、宝塚記念(G1)、日本ダービー(JPN1)  
 ブラックタイド：3勝 種牡馬、スプリングS(JPN2)  
 [孫]ゴルトブリッツ：6勝 アンタレスS(G3)2回  
 [曾孫]レイデオロ：7勝 優3牡、優古牡、種牡馬  
 日本ダービー(G1)、天皇賞・秋(G1)

## Broodmare Sire

**母の父** マンハッタンカフェ

1998年生 青鹿毛 千歳産

【競走成績】  
 国内：11戦6勝 海外：1戦0勝  
 有馬記念(G1)、菊花賞(G1)、天皇賞・春(G1)

【母の父として】  
**デーオーケインズ**：チャンピオンズC(G1)  
**レッドジェニアル**：京都新聞杯(G2)  
**ソウルラッシュ**：マイルーズC(G2)

**TRAINER** 西田雄一郎 調教師(美浦)

1974年10月14日生 神奈川県出身  
 2022年開業 JRA通算2勝 ※成績は2022年6月28日現在

【主な管理馬】  
**ゲンパチフォルツァ**：青竜ステークス(OP)  
**クローリスノキセキ**：すずらん賞(OP)2着

## Sire

**父** サトノクラウン

2012年生 黒鹿毛 安平産

【競走成績】  
 国内：17戦6勝 海外：3戦1勝  
 宝塚記念(G1)、香港ヴァーズ(G1)、  
 京都記念(G2)2回、天皇賞・秋(G1)2着、  
 日本ダービー(G1)3着

【直近3年の種付頭数】  
 2019年207頭、2020年135頭、2021年93頭

【代表産駒】  
 クラックオブドーン：2歳新馬



©上田 美貴子

(有)大樹ファーム 荻野豊代表のコメント

大樹レーシングクラブ2021年産募集馬ラインナップ、口火を切るのはクラウンアゲンの21年産。母は近親にディーブインバクトがいる豪華な牝系で、繁殖部門の期待の新星です。初仔の姉クローネウilmマ(父タリスマニック)はデビュー戦から強烈な末脚を披露してくれました。父サトノクラウンは今年が産駒のデビューイヤーで、早速新馬勝ちを収めて自身の能力の高さを産駒に伝えているようです。本馬の馬体写真に目を移すと、スラっと長い四肢と流麗なボディラインが目につきますね。通常、四肢が長いと重心が高くなり頼りない印象を抱かせます。しかし本馬の場合は、大きな肩甲骨からなる広い肩と、適度に余裕がある腹袋のおかげで地に脚が付いている安定感があります。皆さまも写真を見て不安定さは感じないのがお分かりいただけると思います。肩が広ければその分大きな心肺が格納できますから、スタミナ豊富な走りに期待できそうですね。性格はお人形のような姉とは違い、牡馬らしい“やんちゃ”な性格です。動きの面では、すでにロンジングによる馴致までは進めていて、歩様が柔らかく、暴れた時などのしなやかな身体の使い方からは相当な運動センスを感じます。奇しくも両親の馬名に“クラウン”を冠する本馬。名にふさわしい活躍をする運命にあるのでしょうか。あとは人事を尽くすだけです。